



理念

- 1 県教育委員会、静岡県教育事務所人事異動方針及びH29 基本方針
- 2 熱海市学校教育の基本方針
- 3 子どもたちに高いレベルの学びに挑戦する機会を提供しよう。
そこで、私たちが学び成長しよう。学び合おう！
認め合って支え合う集団。
- 4 顔をあげ、心を整え、耳を澄まし、言葉と行動を、子どもも私たちも磨いていく。
そのきびしさとやさしさの質の高さを自負しよう。

- 5 学び：対象（教材）との出会いと対話
他者（仲間や教師）との出会いと対話
自己との出会いと対話

それは、柔らかな声と身体による〈変わり〉にあり、〈聞き合う関係〉にある。授業は（さらに他の活動の多くも）、高く設定された内容レベルと、教室でもっともわからない子どもの問いのレベルとの間の大きなギャップを、教師と子どもたちが協同で埋めていく実践。個々人が主体でありながら、決して一人ではできない他者との対話（考えや意見の多様性）を通して追求していく。
6 ここにいるみんな、自分を誇ろう、熱海中学校を誇ろう。

教育課題

- ・生活基盤（基本的な生活習慣）、学習基盤（学習態度）が十分に身につけていない生徒もいて、学力の差が大きい。
- ・仲間を大切に、やさしくいきいきしている生徒が多い。
- ・体を動かすことが好きだが、ケガが多い。

学校教育目標

思うようになる 今どう思い、どう過ごす

重点目標

知：学習に向かい、知識理解を着実にし、主体的に学び合い探求する子
徳：よいイメージと向上心を持ち、人と支え合う心豊かな子
体：自らを知り、鍛え、たくましい心身をつくる子

学校経営目標

- (1) 学びの質を高めるため、主体的で対話的な学びがあり、探求的な学びになるように、子どもを感じ・聴き、課題や小グループや全体でのデザイン・流れ・受け応えを探求する授業（教員）を積み重ねる。
- (2) 学力や体力、学校生活向上のための取り組み、定着と習慣化・競い合いを推進する。
- (3) 一人一人が互いに心を添え、安心で安定した人間関係を構築し、目指すものの共有や個々の力を大切に、充実した人生・成長する先端（自立・貢献）となれるよう的確な判断をする。
- (4) 安全や健康（食も含む）のための取り組みを進めるとともに、事務の円滑な運営を行う。
- (5) 中学校区の小学校との連携や保護者や地域との連携を図り、ともに成長する。

教職員一体となってデリケートな日々をていねいに営む
職員会議（年 14 回）+ 各指導部会

研修（年 14 回）+ 授業研究

週 1 ↓ 教務会・運営委員会

研修委員会・生徒指導部会・いじめ防止対策委員会

- ・それぞれの学年のなかでの動きを共有し、横の絡みを促す
- ・日々できているところと、日々できていないところ
- ・中期的視点のなかで、今を見つめる

中学校区の小学校教職員との研修と連携

4 地域の青少年健全育成会や関係機関との連絡・連携

市教委学校教育課・市社会福祉課子育て支援室との連絡・連携

PTA 活動・桃陵会・同窓会

- (1) PTA 活動の充実
- (2) デジタル・テトックスなどの啓発
- (3) 各 PTA 行事や学校行事での連携

初任者研修の実施

学校の中心は特別活動も含む授業

研修による教職員の資質向上

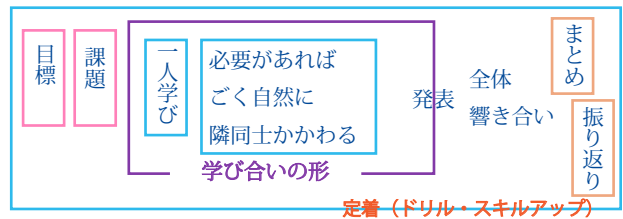
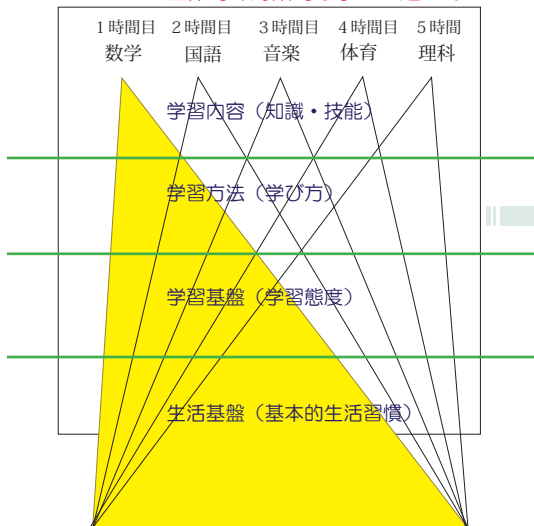
- ・授業研究を大切にし日々の授業の充実を図る
- 学習部による子どもたちへの指導
- ・漢字トライや英単トライによる競い合い
- ・評価カードによる授業態度の自覚
- ・家庭学習の充実

学校だよりの発行・町内回覧板での回覧
朝礼の充実

大切にしていきたいこと

- (1) 学年部を中心とした日々の振り返りとステージ制を取り入れた教育課程の実施（PDCA サイクル）
- (2) 学習規律の確立と家庭学習の習慣化（点検、評価の実施）
- (3) 「目標」「課題」を明確にし、「まとめ」「振り返り」を行う。
- (4) 学級の秩序（ルール）づくりとよい根拠に向けた取り組み
- (5) 朝読書、給食、合唱、少しの教える時間への取り組みとキャリア教育の工夫
- (6) ねらいを明確にした行事の実践
熱中発表会（文化の部、体育の部）、強歩会、立志のつどい（2年）
音楽発表会、宿泊行事
- (7) 人間関係づくりプログラムによる子ども理解

研修テーマ 学び合い、探求する子を目指して
～主体的で対話的な学びを通して～



①授業が成り立たない

- ・関係ない言葉や話をしている。

②授業は進んでいるが、ある子として・・・

- ・友だちや先生の話の聞いている。
- ・ノートをとっている。
- ・でも・・・

③どの子もしっかり学んでいる。

- ・個々人の学びがある。
- ・「どういうこと？（わからない）」と訊ける。
- ・もの（テキスト、具体物、資料）、友達、自分と対話している。
- ・問いに向き合い、学んだ実感がある。
- ・教科の言葉をきちんと使う。

・細やかな事実や出来事を「発見」し「わくわく」し
難解な探求を楽しむ。

④どの子も探求している。

- ・自らの問い（意思）がある。
→テーマまでのプロセスも価値が大きい
- ・もの、ひと、自分との豊かで深い対話。
- ・様々な資料を求め検討する。
- ・集団がよくなる。（やさしさやしなやかさ）
- ・全体で「つなぐ」「もどす」「焦点化する」。
- ・「まとめ」「振り返り」の内容がレベルアップする。

アクティブラーニングの視点

- ・深い学び：習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置きつつ、深い学びの過程の実現
- ・対話的な学び：他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程の実現
- ・主体的な学び：子どもたちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につながる、主体的な学びの過程の実現